

# 健康・医療戦略に係る 総務省の主な取組

平成28年6月13日

# 健康・医療戦略に係る総務省の主な取組

1. 医療・介護・健康分野におけるICT化の推進

...

2

# 健康・医療戦略に係る総務省の主な取組

## (4) 世界最先端の医療の実現のための医療・介護・健康に関するデジタル化・ICT化に関する施策

- 1) 医療・介護・健康分野のデジタル基盤の構築
- 2) 医療・介護・健康分野のデジタル基盤の利活用

### 1. 医療・介護・健康分野におけるICT化の推進

#### 1. 平成27年度における取組

- 健康無関心層を含めた国民の健康を増進するため、ヘルスケアポイント等のインセンティブを用いたICT健康モデルの実証を行い、インセンティブの効果を検証した。

#### 2. 主要な成果

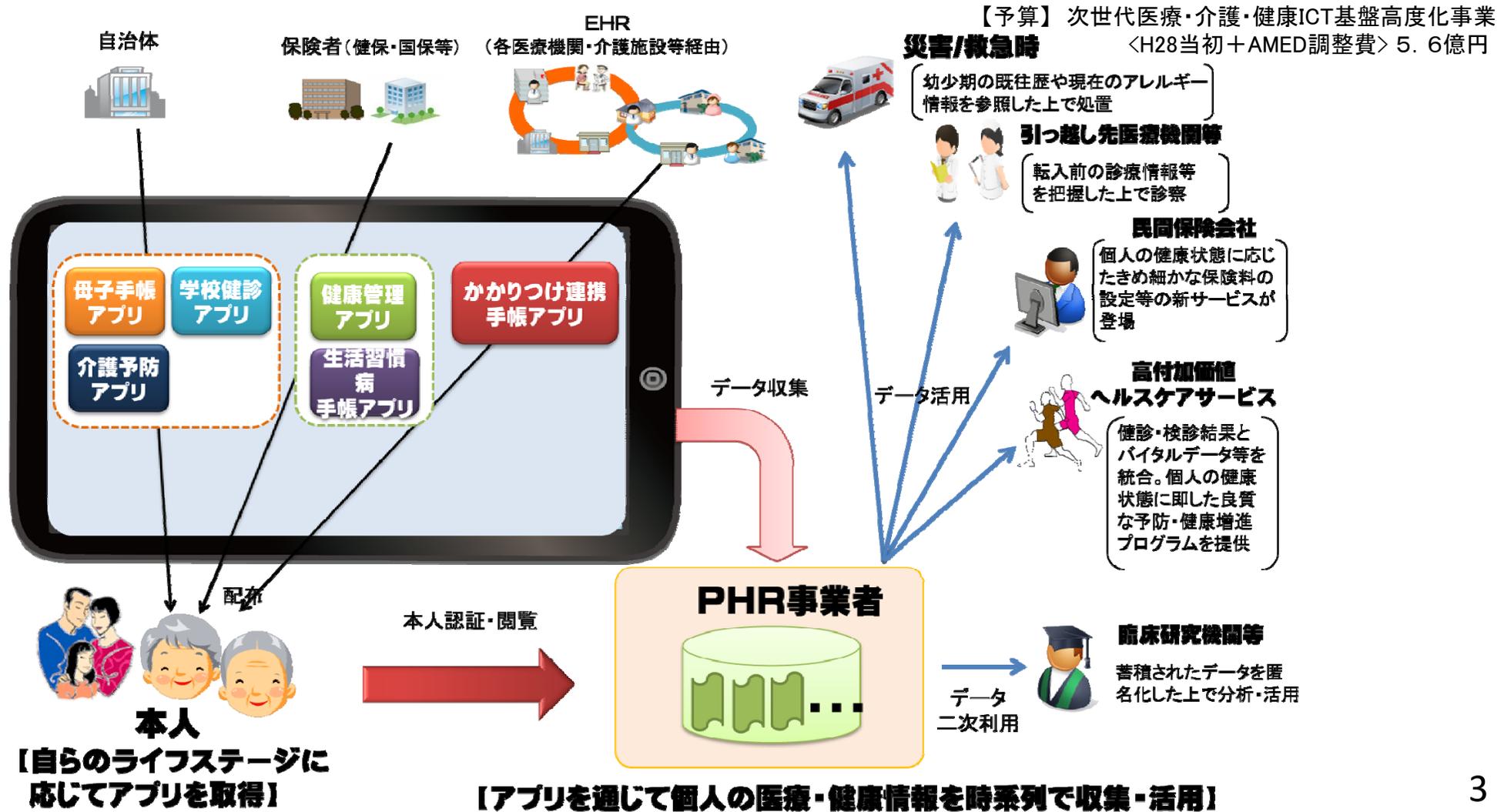
- 厚生労働省と共同で「クラウド時代の医療ICTの在り方に関する懇談会」を平成27年6月から開催し、国民一人ひとりが自らの生涯にわたる健康・医療情報を経年的に管理・活用する仕組み（PHR：Personal Health Record）、モバイル・8Kなどの最新技術の医療分野への活用可能性等を主な内容とする報告書を同年11月にとりまとめた。
- 平成26年度からの実証事業の成果を厚生労働省の「個人の予防・健康づくりに向けたインセンティブを提供する取組に係るガイドライン」に反映した。（平成28年5月18日公表）

#### 3. 今後の取組方針

- 「クラウド時代の医療ICTの在り方に関する懇談会」報告書で提言された内容を着実に推進。
  - PHRの推進について、本年7月からAMEDによる研究事業として開始予定。（次ページ参照）
  - モバイル端末やクラウド技術を活用した医療情報連携ネットワークについて、クラウドシステムを想定したガイドライン整備に向けた調査検証事業を今月中に開始予定。
  - 「8K技術の応用による医療のインテリジェント化に関する検討会」を本年4月から開催しており、夏頃を目途にとりまとめ予定。（次々ページ参照）

# PHR(Personal Health Record)の推進

- 総務省は、厚生労働省と共同で平成27年6月より「クラウド時代の医療ICTの在り方に関する懇談会」を開催し、健康・医療・介護情報を個人が効率的に収集・活用する仕組み(PHR)の有望なユースケースやその実現に向けた課題等について検討を行い、同年11月に報告書を公表。
- 報告書を踏まえ、妊娠・出産・子育て支援、疾病・介護予防、生活習慣病重症化予防、医療・介護連携など、ライフステージに応じて自治体、保険者、医療機関等からデータを本人が取得・管理し、災害・救急時に活用するなど本人にとってメリットが実感できるサービスを実現・創出。



# 8K技術の医療応用により得られる高精細映像データの利活用の推進

- 総務省において、内閣官房健康・医療戦略室と連携し、8Kなど高精細映像データの利活用により、医療分野におけるイノベーションを推進することを目的として、「8K技術の応用による医療のインテリジェント化に関する検討会」を開催中。
- 外科医からのニーズが極めて高い「8K内視鏡」を先行して開発することで、8K技術の医療応用により得られる高精細映像データの利活用に向けた取組を加速。

【予算】次世代医療・介護・健康ICT基盤高度化事業  
〈H28AMED調整費〉0.6億円

## ➤ 8K内視鏡（硬性鏡）の開発



⇒ 引いた位置からの撮影により、臓器損傷のおそれがない**安全な手術を実現**

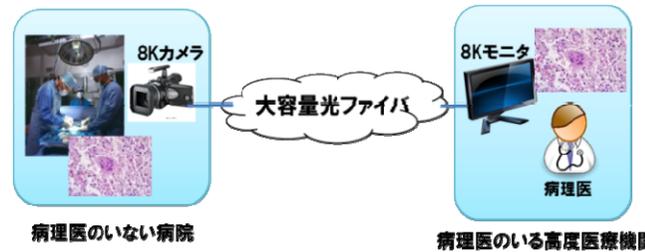
(従来腹腔鏡手術は術中の臓器損傷の発生率が開腹手術の2倍)

⇒ 鮮明な映像によりがんの取り残しを防ぎ、**完全な治療を実現**。

(従来腹腔鏡手術はがん細胞の腹膜播種(転移)による再発率が開腹手術の1.5倍)

## ➤ 8K画像を用いた遠隔診療の実用化

### ①遠隔病理診断



⇒ 画質の向上により、遠隔病理診断における**判断ミスの回避に期待**

(参考)これまでの遠隔病理診断で判断ミスとされているケースの7割が「見えているのに画像が粗く診断できない」ことによるものとの報告あり

### ②遠隔診療支援



⇒ 遠隔地の医師による8Kモニターを通じた遠隔診療により**皮膚疾患など細かな病変や色を伝達可能**

- 上記の具体的プロジェクトを推進するとともに、8K映像データのAIを用いた画像解析などの高精細映像データ利活用の可能性と課題についても検討